

会 議 名	第9回杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	平成28年1月25日(月) 午前10時00分～午前11時30分
場 所	桃井第二小学校 ランチルーム
出 席 者	懇談会委員15名(欠席1名)
傍 聴 者	5名
次 第	1 開会 2 改築検討懇談会まとめ(案)について 3 閉会
資 料	資料1 改築検討懇談会まとめ(案)

座長	<p>それでは定刻になりましたので、桃井第二小学校校舎改築検討懇談会第9回を始めたいと思います。本日は早朝よりお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日は最終回、まとめの懇談会ということになります。1時間ほどをめどに進めていきたいと思っております。進行にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日も傍聴の方お見えになっておりますが、円滑な進行にどうぞ協力いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、早速資料の確認を事務局からお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>おはようございます。本日もお配りしているのは、資料1「桃井第二小学校校舎改築検討懇談会まとめ(案)」です。</p> <p>全部で49ページございますが、ページが抜けているなど、不備がありましたら事務局までお声をかけてください。</p> <p>資料の確認は、以上のとおりでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会議次第の2番「改築検討懇談会まとめ(案)について」の議事に入ります。これまで8回にわたる検討懇談会の議論について、事務局からまとめが資料として出されております。事務局から説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは資料1、懇談会のまとめ案の説明をさせていただきます。</p> <p>平成26年12月の第1回から前回第8回まで、本懇談会の場でさまざまなご意見が出たかと思いますが、本まとめ案につきましては、「改築に関する議論」をまとめてきたということでご理解いただければと思います。</p> <p>目次をご覧ください。1番「改築検討の方針」、2番目に「計画と条件」、3番目に「校舎改築に関する懇談会まとめ」、4番目として「懇談会の経過」、最後に「資料編」というくくりで整理をしております。</p> <p>1ページ目の「改築検討の方針」の章では、教育委員会の考え方や検討の進め方を記載しています。</p> <p>次ページには、「計画と条件」という章がでてきます。こちらの章では現在の学級数等の基本的な情報のほか、第3回の検討懇談会においてご説明した計画地</p>

の概要について、改めて掲載しております。

1つ誤りがございまして、2ページの2番「建築条件等」の3番目の下に、用途地域の表がございまして、表の①番に「敷地東側（環状八号線側）」とありますが、正しくは「敷地西側」になりますので、訂正をお願いいたします。

こちらを振り返りますと、桃井第二小学校近隣の近年改築校である、荻窪小学校や松溪中学校など、区立学校の多くが第一種低層住居専用地域に立地しています。それに対して桃井第二小学校は、環状八号線という幹線道路に面しており、近隣商業地域及び第二種住居地域という、大規模店舗や映画館などの商業施設も建築可能な地域といった特徴もあったと思います。

こうした条件の中で、4ページから第3章のところが今までさまざまな検討をしてきたまとめということになります。「改築基本方針」につきましては、第5回懇談会において内容を確認したものを掲載しております。3つの柱ということで、「多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校をつくる」。2番目として、「安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくる」。3番目は「地域に開かれ、地域と共に子どもたちの健やかな成長を育む学校をつくる」。このような柱でまとめてきたと思います。

5ページの「校舎配置計画・平面計画」につきましては、配置計画、平面計画、それぞれの主な特徴を文章化して列記しております。こちらは7ページ以降9ページまでの図面もあわせてご覧ください。

配置計画としましては、桃井第二小学校の敷地の特徴である、ひし形敷地の形状に合わせて台形型の校舎を善福寺川に配置したこと。これにより、善福寺川と校庭の両面から開放空間が得られて、広く形のよい校庭が確保できたこと。また、近隣への日影や環八の騒音を抑える計画としていることなどを、主な特徴としていたと思います。

平面計画につきましては、1階の西側に学童クラブと給食室、校庭側に管理諸室、川沿いには新たに開放会議室、また小規模遊び場などを配置しています。大きな多目的室を学童クラブに隣接させて、体育館や校庭への動線も考慮して配置しております。これにより、多様で豊かな放課後活動に対応する計画としております。

2階の西側には体育館、2階から4階にかけて川沿いに普通教室エリア、校庭側には特別教室、特別支援学級を配置する計画となっております。

また、4階、5階にはデッキやプールといった、屋上部の活用も図る計画となっております。

概略ですが、皆さんの議論を経て、このような形にまとめてきた次第でございます。

10ページの「改築工事工程案」、11ページの「改築工事期間中の対応について」は、懇談会でご説明した資料を再び掲載しております。

12ページ以降は、これまで開催した懇談会の内容を大まかにまとめ、凝縮して掲載をさせていただいております。簡単ですが、振り返りをさせていただき

いと思います。

第1回は、桃井第二小学校の特色の説明や改築に当たっての基本的な考え方を、スケジュールなどを含めて説明をさせていただきました。第1回については幅広い自由なご意見をいただいたかと思えます。

第2回の懇談会では、近年の改築校として天沼小学校と高井戸第二小学校の視察を行いました。天沼小学校は区内で2番目に狭い敷地に、地下1階から地上4階の高層化を図った学校です。対して高井戸第二小学校は、区内で一番広い敷地の学校です。対照的な学校だったと思うのですが、それぞれ敷地の特徴を活かして、いろいろな改築の仕方があることを見ていただきました。

第3回の懇談会は、計画地の概要を説明させていただき、敷地の特色も踏まえて改築基本方針のたたき台をお示して、それについて意見交換をさせていただいた次第です。

第4回は、たたき台を修正した改築基本方針（案）をお示しさせていただきました。3つの柱等の内容について確認をさせていただきました。また、基本的な校舎配置案ということで、この回で出した資料としては、全部L字型の校舎でシンプルな提案の仕方だったのですが、議論をさせていただいたかと思えます。

第5回懇談会は、改築基本方針の内容について確認させていただき、取りまとめのところでは、また、前回のL字型だけではなく、テーマを設けた4つの校舎配置案について議論を行い、4つから3つの案に絞り、平面計画等を引き続き検討するということになりました。

具体的には19ページ以下に当時の資料の抜粋ということで、A案、B案、C案、D案を載せております。当時の日影の検討についても掲載しています。21ページ以下は、参考として校舎の中身を載せております。

第6回の懇談会では、第5回の懇談会でA案、B案、D案の3つに絞った配置案について議論を行い、懇談会としては善福寺川沿いに校舎を配置するD案、建物周辺の開放性を優先した案ということで、意見をまとめていったと思えます。

第7回懇談会は、前回出した課題やご要望も踏まえて、平面計画案について諸室の配置の検討を具体的にお話しさせていただいたところでは、

第8回では、外構計画も含めて修正した平面計画案をお示しさせていただきました。その議論を経た上で、懇談会としては、この平面計画案に基づいて改築の計画を進めるということを確認したと思えます。

また、平成28年度から31年度までの工事工程案の概要とともに、改築工事期間中の対応について改めて説明をさせていただきました。

「資料編」については、改築検討懇談会ニュース、懇談会の委員の構成、設置要綱、検討経過一覧をまとめて、巻末に盛り込んでいるところです。

議事録は別途作成して、公開も行っています。懇談会のまとめでは、この議事の中で出た改築に関する内容を凝縮し、大まかな流れがわかる程度で取りまとめているところがございます。

簡単ではございますけれども、資料の説明は以上のとおりです。

<p>学校整備課長</p>	<p>少し補足をさせていただきます。</p> <p>今、担当からご説明したように、この冊子が懇談会の最終のまとめということになります。7ページ、8ページ、9ページと平面計画を図示して資料に載せているところです。これは、これまでの懇談会での皆様のご意見、そして検討を重ねて取りまとめた内容でございますので、これを基本設計に最終的には反映させてまいります。</p> <p>しかしその後、基本設計が策定された後に実施設計と申しまして、詳細な設計を行ってまいります。その詳細設計というのは、工事に着工するための細かな設計を全部積み上げて、設計図書という形にして工事を行うのですが、その際には建物の構造上、この建物もそうですけれども、「エキスパンションジョイント」と申しますつなぎ目や、動線計画、防火上の区画など施工上のさまざまな詳細設計をしていくと、大なり小なり修正が入ってくると思います。</p> <p>ただ、それは基本設計に基づいておりますので、基本設計が変わるということではございませんが、懇談会の中で本当に細かいところも子どものための施設だということで皆さんで議論をしていただきました。ここはこうしたほうがいい、ああしたほうがいいというのがあったと思います。</p> <p>細かなところについては、実施設計の中で多少変わるところがあります。そこにつきましては、私ども区と、設計事務所に調整させていただくということで、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>まとめ案についてのご説明がありました。資料が膨大ですので、5分ほど目を通す時間を取りたいと思っております。</p> <p>その後に、本日最後ということですので、委員の皆様全員から総括的なまとめ、感想等を1人ずついただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>(資料読み込み)</p>	
<p>座長</p>	<p>それでは、これから委員の皆様方から総括的な感想、あるいはまとめ等をいただければと思っております。特に順番決めておりませんので、挙手をお願いできればと思っております。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>配置図の確認をさせていただきたいのですが、2階の特別支援学級について、昨年の保護者説明会で、保護者から「日当たりの問題で、図書室と特別支援学級を入れ換えてもらえないか」というような質問が出たかと思っております。今日、拝見したところ前回のままのようですね。これが決定でこのままいくのか、やはり検討していただいた結果、理由があってこのような配置に決定したのか、また、今後図書室と変わる可能性があるのかを伺いたいです。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>基本的には先ほど課長からご説明しましたが、今後法令的な打ち合わせや実施設計の中で、学校との打ち合わせで変える必要がありましたら、それは変えていかなければいけないと思っております。</p>

	<p>この平面図については、懇談会としては本日が最後になりますので、この案で締めさせていただきます。今後、学校との打ち合わせや、法令関係の中で変更せざるを得ないところについては、変えていくことはあるかと思えます。特別支援学級と図書室の取り換えについてのご質問だと思えますが、平面プランについては、学校側とよく打ち合わせしなければいけないと思っていますので、それについては継続で検討という位置づけでお願いしたいと思えます。</p>
座長	<p>前回の懇談会の段階では、この資料できているということで、継続検討ということですね。</p> <p>他にございますか。お願いします。</p>
委員	<p>平面図の確認ということでお尋ねします。7ページの1階にある「開放会議室」は、学校が終わった後に貸してあげる開放会議室と解釈していいのでしょうか。学校支援本部室が隣なので、確認したいです。そうすると、「会議室2」は学校の先生が使う会議室と解釈していいのかと思っています。これからまだ変更があるかもしれないとのことですが、今の段階でいいので教えてください。</p> <p>というのは、学童の子たちと同じような時間帯に、一般にこの部屋を開放するのなら、開放用の出入りがあるのかと思いましたのでお聞きしました。</p>
学校施設計画推進担当係長	<p>「会議室2」は、学校が学校運営上使用する会議室です。「開放会議室」は、学校が使っていないときに開放していくものです。運用の仕方は今後いろいろな検討があるかと思えますが、基本的には学校が使わないときに貸し出すものです。動線も環八寄りの「開放用門」、裏から回り校舎内に入らずに、外側の三角マークから室内に入れるように計画しております。</p>
学校整備課長	<p>今おっしゃったのは、放課後居場所の子どもたちのことについてでしょうか。</p> <p>放課後居場所は、多目的室ですね。開放会議室は、担当が申し上げたように一般開放できる場所です。その動線という意味では、学校が閉まっているときは、三角印はアクセスできる出入り口になりますので、動線は分けることもでき、学校が開いているときは中での動線も考えています。場合によっては、外からのアクセスも考えているということです。</p>
座長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他にございますか。お願いします。</p>
委員	<p>10 ページに、仮設校舎のことが少し書かれているのですが、今いる児童のほとんどは、仮設校舎での生活が長くなりますので、仮設校舎の平面図や内容に関して、もう少し詳しいものが後日いただけるのか、あるいは説明会を開催していただけるのか伺いたいです。</p>
座長	<p>では、仮設校舎についてよろしいですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>仮設校舎につきましては、今実施設計をしております。まだご提示はできておりませんが、どこかの段階で学校を通じて相談をさせていただければと思います。</p>
学校整備課長	<p>当然仮設校舎を造るわけですから、学校とよく調整します。そこで子どもたち</p>

	が過ごすわけですから、きちんと保護者の方にもご説明します。まだその時期ではないということです。
委員	ありがとうございます。よろしくお願いします。
座長	では、また後日改めてということになりますね。 他にございますか。お願いします。
委員	7ページの校庭のところ、東側に屋外トイレと体育倉庫、学校開放指導員詰所などがございます。この件について、近隣の方からその場所は死角になってしまい、不審者が忍び込む可能性もあるので、できればそのあたりを開放して欲しいというご意見がありました。当然その場所にあるのが図面上は感じがいいのかもしれないのですが、できればよく見えるところに移動して、すっきりさせたほうがいいのではないかと思います。一度お電話で申し上げたのですが、そのままになっていますので、ここで一応最終確認なので、できれば学校の保健室のほうか、道路側の都合のいい場所に移動していただかないと、不審者が入り込んだ場合にチェックするところがないので、動かしていただきたいと思います。やはり安心、安全面で疑問になっています。よろしくご配慮お願いしたいと思います。
座長	では、お願いします。
学校整備課長	<p>極端な話、例えばこのグラウンドの頂点のところに砂場があり、遊具があつて、道路側には鉄棒があります。委員がおっしゃった体育倉庫や飼育小屋は、東側に並んでいます。これは、この懇談会の中でまとめて、議論して出た資料ということでご理解いただきたいのが1つと、校舎の建物については、実施設計の中で多少変わってくる場所もあるだろうと思います。ただ、この配置とゾーン分けなどの基本的なところは、懇談会でご議論していただいて、一定程度1つの方向性が出てきたわけですから、これでまとめました。</p> <p>このグラウンドについては、実は外構工事の中でやっていきます。これまでにご説明申し上げておりますが、工事が2年かかる。31年4月に新しい学校がオープンする。そして既存の校舎を壊し、仮設の校舎を壊してグラウンドを整備する。その中で最終的にどこに遊具を置いて、どこに飼育小屋を置いて、飼育小屋サイズについても、外構工事に着手するまでに決めるわけです。その中では当然学校とも協議をして、地域の方や支援本部の方々も、いろいろなご意見があると思います。全部を網羅的に聞くわけにはいきませんが、チャンネルを一本化して、それぞれお話を聞いたり、やりとりをしたりということをしていただきたいと思います。さらに近隣の方は、建設工事のときに工事説明会を行います。その中でも様々なご意見が出てくると思います。それは100%お応えできますとは言えません。ただ、近隣への配慮をした工事をするのは当たり前であつて、その1つとして委員がおっしゃった、塔屋についてはどうするのか、全体を総合的に勘案して最終的に決めさせていただきます。今の話は、当然これから検討する話であると理解していますので、もうこれでフィックスではないということで、ご理解いただければと思います。</p>

委員	この話については、懇談会の中でも今まで余り出ていなかったと思います。一応近隣の方がそのような希望をしているということは、心にとめておいていただきたいと思います。
学校整備課長	それは前回おっしゃっていただいて、さらに直接お話を聞いていますので、杉並区の教育委員会として、ご意見をいただいたとご理解いただければいいと思います。
副座長	今の質問で理解できなかったのですが。死角というのは、どうして死角だと思っ ていらっしゃるのですか。
委員	向こう側は、建物のすぐ隣までビルが建っておりますので。
副座長	向こう側って？
委員	東側に壁があります。それから新しい体育倉庫などがあると、その間が空く のではないかということで、安全面で心配しております。皆さんから見えないと ころで、もし困ったことが起きたときに、対処が遅くなるのではないかというこ とも心配しています。
副座長	死角があるということなのか、この場所が見えにくいということなのか。
委員	こちらからはよく見えるのですけれども、裏側は建物が建っています。
副座長	この裏ですか。ここは入れないようにすればいいのではないですか。
委員	不審者が入り込んだ場合に、どなたも夜になってもわからない。
副座長	この隙間が死角ということですか。 全然認識が違っていました。建物の裏というのはどこにでもあります。
委員	ただ、隣の建物と体育倉庫の建物というのは、全然見通しがいいものですか ら。学校から見えるような場所だと困らないのですが。
副座長	おっしゃっていることはわかりました。例えば、ここは人が通れなければいい わけでしょう。この位置でも死角を作らなければいいわけですね。
委員	やはり安全面というのですか。外部の侵入者だけでなく、例えば子どもがそ ういう空間があるところに連れ込んで……。
副座長	死角を作らなければよいでしょう。この場所が悪いということではないのです ね。
委員	それは私の意見というよりも、そちらに該当する方のご意見で、そういうふう な希望をおっしゃっていましたから。
副座長	だから、おっしゃっている意見がよくわからなかったのです。要は死角を作ら なければいいということですよ。それから、なるべく東側に寄せたほうがいい というのは、ここは3階建てが結構あるので、東側の朝は一番凍ってしまう場所 なのです。だからここに建物を建ててしまうほうが、使えない暗い部分を造らな いのでいいですねという意味も含めたのです。この配置を設計するときに、死角 を作らないようにすれば良いと理解すればいいのではないですか。保健室のほう とかおっしゃったので、よく意味がわかりませんでした。

学校整備担当 部長	植栽帯と建物の間の細い路地状の場所が、死角になって危ないということですね。
委員	そうですね。
学校整備担当 部長	そこは人が入れないようにするとか……。
副座長	意見の趣旨をきちんと聞いたほうがいいです。
座長	安全面については、いろいろ出てくるかと思えます。 他にございますか。お願いします。
委員	外装の話が出たのでお伺いしたいのですが、今回は外側のことについて私たちは全然ノータッチだったので、どんなふうになるのか、色などに関して教えていただけるのかと思ひまして。私たちの方から「こんな感じがいい」とか言えるものなののでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	外壁の色などについてですね。
委員	外壁の色は、全体的なデザインができないとわかりにくいとは思いますが、見た目はどのような感じを考えてらっしゃるのかということです。
教育施設計画 推進担当係長	まだ懇談会の時点では詳細にお示しできておりません。外壁の色などについては、区の景観審議会の意見も踏まえて、実施設計の中で固めさせていただければと思っております。
学校整備担当 部長	色については、実施設計に入って具体的に形が決まってから決める段階になります。担当者が言ったとおり、色については設計事務所と営繕課で決めさせていただきますが、景観審議会にお諮りして意見も聞かなければいけませんので、まだ未定です。
委員	私としては、余り奇抜に「先端」という感じではないほうがよいと思ひます。
学校整備担当 部長	白やアイボリー、茶色などを基調にするのが、基本になると思ひます。それにプラスして、玄関や軒先などに特色ある色を使うのかなどについては、これから決めていく話だと思ひます。
座長	いずれ実施設計が進んだ段階で、明らかになってくるということでありまひす。 他にありますか。お願いします。
委員	第3回懇談会だったと思ひのですが、校庭排水のお話をひして、遊水池、雨水ますを造っていただくということでした。今まで役に立たない雨水ますを造って、大雨が降るたびに外へ流れ出ています。今度はそういうことのないようにするということだったのですが、そのときに「雨水ますは校舎の下に造ります」とおっしゃいました。現在も、そのように考へているのかお聞きしたいのですが。
学校整備担当 部長	校庭に降った雨水を、どのように貯留するかというお話だったと思ひます。懇談会でご説明したのはあくまでも例の1つで、建物を造った際、基礎の中に少し余裕が生まれますから、そこを有効活用して水を溜めることもできますし、従来のように校庭の下に水槽を造って、雨水を溜めるという方法もできます。どの方

	<p>法にするは、これから実施設計を進めていく中で、費用対効果やメンテナンス性を含めて決めていくことだと思います。</p>
委員	<p>この前のお話では、校庭を造るときに時間的な余裕もないので、基礎の下に造るというお話でした。</p> <p>今回、南側の川の方に校舎ができることになりました。この部分は善福寺川の水面の下から水が湧き出す可能性があるのですよね。ですからよほど防水性、耐水性というものをしっかりしていただかないと、上ばかりでなく下から湧き出してくる水でいつもいっぱいになると。新しいうちはそういう心配はありませんが、老朽化してきた場合に、いつも水がいっぱいになるということもありますので、その点よく考えていただきたいと思います。</p> <p>校庭の東門から水が流れ出して、大変ご近所の方に迷惑がかかっていると思います。今回、東門は階段で上がるように図面ではなっていますが、土を盛り上げて、階段で上り下りするような形にするのでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>東門付近は詰め切れてない部分はありますが、川側の地盤レベルをゼロとしたときに、少し地盤を上げるような形になります。そうすると今よりも、東側のレベルが上がりますので、段差ができます。そこをどう処理するかというかは、これからきちんと詰めていくつもりです。</p> <p>ただ、今後は正門を一本化して、子どもたちを全て見守るといような発想がございましたので、今の東門のところは通常の登下校のようなものには使わなくなる予定です。</p>
委員	<p>地面を上げれば、東側からは流れ出さないけれど、今度は北側の方へ流れ出す可能性もありますので、その点しっかりした対策を考えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
学校整備課長	<p>建物の下には貯留槽というのは必ず造るのですが、杉並区にはいろいろな学校があります。建物の地下にピットがあるのですが、それは雨水をため込んでトイレの排水に使用したりしますが、それと同時に校庭に貯留槽を造って、雨水が一定程度たまったら放流していくという方法も幾つかやっております。この桃井第二小学校の周辺環境に合った建物と最終的なグラウンドの整備、その下をどうするのかはきちんと詰めていきます。</p>
委員	<p>ということは、今回校庭は後工事になりますね。その段階でますを造るということですね。それで排水装置もちゃんとすると。前は、たしか排水装置なしで浸透ますという形をとったということで、全く役に立たないような形だったと思います。大金をかけて造ったますが役に立たないのでは何もありませんので、その点よく考えていただきたいと思います。</p>
座長	<p>校庭排水の件も、実施設計の段階でいろいろ活かして進めていくということになろうかと思います。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>各論2つと総論1つです。基本的にこれまで懇談会の議論の中で基本計画が確定をしてきているので、本当に各論としては個人の意見に過ぎないのですが、やはり東側に東門がないというのがどうしても気になっています。先ほどお話があ</p>

	<p>った防犯上の死角という意味で、ここが袋小路になるのはどうかというところ と、東側の地域も学区として広がっている以上は、できるだけこの正門で子どもたちの顔を見てというのは発想としてはわかるのですが、一応門を設けて通学に使えるようにするというのが、緊急避難時などを考えるとよいのではないかと感じています。</p> <p>各論の2つ目で、特別支援学級です。2階の北側にあるということで、個人的に自分が通っていた小学校が北側に校庭がある学校でしたので、採光が全くとれないわけではないということは経験上わかってはいるのですが、他の教室が全て南側を向いている中で、特別支援学級だけが北側を向いているのは若干違和感があります。例えば「作業調理」という部屋があると思うのですが、火を使うところであれば1階が給食調理場、理科室等々ありますので、そちらに集約したほうがよろしいのかなと思っています。そこで例えば交換ができそうなスペースとしては、開放会議室が常時使用しているわけではありませんので、そのスペースや周辺のスペースと、特別支援学級の場所を交換するというのも、1つ発想としてあるのかと思っております。各論自体は以上です。</p> <p>総論として、私は第3回の議論に参加していなかったのですが申し訳ないのですが、ハザードマップが取り上げられていると思います。インターネットなどにある資料を見ると、南側に校舎があるというのは大丈夫なのかという心配もあります。こちらの懇談会の議論は、尊重されるべきかと思うのですが、父母一般に意見を聞いてみると、「なぜD案なのだ」と。「どうしてA案とかB案ではないのだ」という声は、根強く聞かれているところです。懇談会の決定は尊重されるべきだと思いますが、なぜD案に選定されたということは、ある程度説明できるように、かつ、説明会なども開いていただいたほうが、父母、教職員の理解も進むのかなと考えております。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>特別支援学級については委員からもコメントをいただいて、両方でお答えできればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろとありがとうございます。特別支援学級については、当初は1階に計画を立てさせていただきました。それは動線や避難のことを配慮して、南側ということでしたが、やはり本校の特色にしたいところの触れ合いとかかわり合いということで、全校の子どもたちが体育館に行くときに、必ず特別支援学級の前を通過して、子どもたちの活動の様子などを垣間見えるように配慮して、あえて2階に移動した経緯があります。そして、体育館に自分たちも行きやすい形で、体育館に近い位置にということで計画が入りまして、私たちもその特色の部分については大事にしたいところですので、このような配置になっています。</p> <p>図書室は日が当たらなくても大丈夫な場所ではありますが、図書室自体も本校の読書活動も重点的にしたいところですので、配慮しながら考えた末の配置になっています。けれども図書室にすごく日が当たらなくても大丈夫なこともあり、検討の余地は全くないとは思いますが、そのような経緯でやっております。委員がおっしゃった、1階にすると他の教室がありませんので、中央階段のところ</p>

	<p>で子どもたちが、他と全くかかわれなくなります。そのようなことを配慮して、このような案になっております。</p>
学校整備担当部長	<p>先ほどのPTAの質問と絡みますので、この辺については、今日ご意見があったことは役所としても受け止めます。繰り返しになりますが、学校と十分協議の上、最終的には学校のご意向が最大限に活かさなければいけませんので、調整をしていく予定です。</p> <p>それからもう1つは、全体的な総論の方で、「なぜD案なのか」というのがなかなか浸透しきれていない、というご意見だったと思います。</p> <p>今、最後に「学校関係者」とあったのですが、この懇談会の話を生方1人1人が十分理解していただくというのは、まだ時間がかかるかと思えます。確かにこれまで18ページと23ページあたりには、D案に移った経過が簡単に書いてありますが、これだけ案をたくさん出した中で、D案のメリット、デメリットを含めて「なぜD案に決まったか」というのは、もう少し詳しい記述も必要だと思います。</p> <p>この辺は、懇談会のまとめを本日で締めなければいけませんので、経過については補足する記述を書かせていただいて、最終稿までには入れさせていただきたいと思えます。</p> <p>議論については、公に皆さんの意見いただいて決めたわけですから、新たな論理を区役所が出すということはありません。議事録にもきちんと経過が載っておりますので、今のご意見についてはその事実関係を整理した上で、経過をわかりやすく箇条書き程度にまとめたものを追加できればと思います。内容については、座長と校長先生と事務局のほうで一任をさせていただいて、簡単に経過がわかる資料を追加するというので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>ハザードマップについては、これまでも川に近いということで、1階の床を少し上げる工夫をします。河川改修の工事についても、東京都の方で進んでおりますので、防災課と土木計画課と協議をさせていただいて、この周辺のハザードマップが今後どうなっていくのかということも視野に、実施設計に活かしていきたいと思えます。</p>
学校整備課長	<p>保護者説明会を12月に3回やらせていただいて、今部長が申し上げたようにこの配置についてはいろいろな案があったけれども、メリット・デメリットがあり、それもきちんとお示しをして、なぜD案なのかという話をさせていただきました。ですから、改めて説明会というのは開く予定はございません。ただ、このまとめについて皆さんにご覧いただいて、ここはどうだ、ここはどうなのだという話はよくわかりました。</p> <p>まとめの作り方もっときちんとして、追加の資料などは一任させていただきますけれども、皆さんにも配信をさせていただいてご覧いただく。そしてそれを見ると、もっとわかりやすいものをまとめていこうという考えでございます。</p>
座長	<p>このまとめの中に、なぜD案なのかという経過をわかりやすく盛り込んでいくということが、今お話あったと思えます。よろしくお願ひします。</p>

	<p>他にございますか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>東門の件についてです。学区域がある以上は使用できたほうが良いという意見も確かにあると思います。</p> <p>一方で、学校では挨拶運動を大事にしており、子どもたちが入ってくる時の様子を見ていきたい。その場合に、いろいろな方向から入ってくるよりは、きちんと1つ大きな正門というものをどっしり構えて、そこに桜や歌碑があったりというものをしつらえて、毎日来る子どもたちの様子を見ながら、そこで「この子の様子はどうか？」と見守って、指導に活かしていきたいというご要望もありました。それを踏まえての配置ということでご理解いただければと思います。</p> <p>東側から多くの子どもたちが出入りするよりも、校庭が開けているところを横目に見ながら、しっかりした正門から昇降口に入るといった動線のほうが、学校に行く気分が上がってくるのではないかと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にございますか。お願いします。</p>
委員	<p>以前まだ決まっていなかったと言っていたと思いますが、屋上に機械やソーラーパネルなどを置いて、スペースがあったら少しでも緑化したほうが、私は子どもが使えるスペースが増えるのと、4階の教室が南側ですごく暖かくなるのではないかと思いますので、もし可能だったら考えて欲しいと思います。</p> <p>この校舎の中庭で採光をとっていると思うのですが、どれくらい北側の教室に光がとれるのかというのを、今ごろなのですが聞いてみたいと思いました。建物のことではなくて以前にも言ったことと重なりますが、この地域は公園が少なく、子どもたちの遊ぶ場所が少ないです。「あんさんぶる荻窪」の児童館が広くて、そこで学童の子どもたちと学童に入っていない子どもたちも集まって、放課後一緒に遊べるというすごくいい空間だったと思います。</p> <p>桃井第二小学校の改築に当たって、児童館という言葉はなくなっても、児童館の良いところは継承され、また発展させていくというふうにご説明があったと思います。その辺を今一度きちんと、「児童館はなくなってしまったが、こういう中でも子どもたちに還元されてよかった」と思えるようにして欲しいと思います。学校のないときや学校が終わった後に、校庭や体育館などの教室をうまく使い合せて、子どもたちが使える空間を広げて欲しいと思います。桃井第二小学校の子どもたちの環境というのを守っていかないと、荒れていたりストレスを発生したりなど心配です。子どもたちが体を使って、思いきり遊んだり大声を出して遊ぶということが大事なことだと思いますので、そういう場所を「あんさんぶる荻窪」から奪うわけですから、そういう場所を作るということを考えて欲しいと思います。</p> <p>私は当初、学童クラブは委託しないで、児童館の職員が放課後居場所と両方やったら一番うまくいくのではないかと考えて、質問しに行ったことがあります。学童クラブは、区の学童クラブ運営委託方針によって学校に移る段階で委託されることになっていて、方針によれば桃井第二小学校も委託されると聞きました。</p>

	<p>放課後の居場所として、週1、月何回やればそれでいいという話ではなく、児童館は毎日開催していたので、ぜひその放課後の居場所だけではなく、土日も夏休みも冬休みも春休みも、全てにおいて子どもたちが使えるようにしていただかないとだめだと思います。そうするには、PTAや学校支援本部の人たち、学校の先生方の力も大事ですが、それだけでやるにはいろいろ難しいと思うのです。やはり専門職である児童館の職員がかかわりながら、毎日のように放課後や学校のお休みの日にやっていくようにぜひ考えていって欲しいと思います。建物とは直接関係ないですが、ここで一応発言させていただきます。</p> <p>学童スペースと多目的室は、子どもが主に遊びとして使うような場所になっていくので、学校と雰囲気を変えたり、うまく言えないのですが癒されるような色遣いで、何色がいいか私はわかりませんが、そういうことも考えて欲しいです。</p> <p>この懇談会が終わった後、そういうソフト面の意見や、どうなったかというのを聞きたい場合は窓口はどこなのか、懇談会ではないにしても説明会や意見を聞く場などが設けられるのか質問したいと思います。よろしくお願いします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。大きく3点、プラスこの後説明会あるいは懇談会的な窓口が、という話がありました。いかがでしょうか。</p>
学校整備課長	<p>まず、そもそもこの設計思想というのは、今委員がおっしゃったことを実現するための設計思想だったのですね。それはこれまでの議論の中で、委員の皆さんおわかりいただけたと思います。あとは児童福祉部門がどう運営していくかという話になります。私が児童福祉部門から聞いておりますのは、荻窪北児童館と学童クラブを対象にした説明会は、これからきちんと行っていくというような話もお聞きになっているとは思いますが、今度、桃井第二小学校の中に児童福祉関連機能が入ったら、どう運営していくのかは先ほど何度も申し上げておりますが、設計思想としてはそれを志向したものになっています。次はどう運営していくのか。それは学校との協議もございしますが、円滑な運営、そして全ての子どもたちがより良い環境で過ごすということについては、当然教育委員会と、児童福祉部門との連携が必要になってきますので、これから十分対応していけるものと考えております。</p>
学校整備担当部長	<p>最終的にどのような良い環境を提供し、子どもたちが健全に育っていけるかという話は、共通ベースだと思っています。</p> <p>まだ懇談会の基本計画、基本設計の段階ですから、細かなところは私たちも具体的にご説明できない点はあると思います。杉並区役所全庁的に、児童部、教育委員会、学校現場、ハード、ソフトを含めて、児童館機能を持ってくるわけですから、万全を尽くしていくということです。その辺はもう少しお時間いただきたいと思います。</p>
営繕課施設整備担当課長	<p>あと建物のお話が2つぐらいあったと思います。屋上緑化につきましては、これから設備の機器を置いたり、先ほど言った太陽光パネルを並べたりする都合もありますので、そういったものを置いた後、空いている部分でうまく管理できるような場所があれば、緑化は考えていきたいと思っています。</p>

	<p>中庭の日当たりは、北側に日当たりが出るかという結構難しく、採光、明かり取りや通風などはとれますが、中庭から日当たりをとるということは考えておりません。</p>
学校整備担当部長	<p>上から日差しが入ってきますので、吹き抜けに面した窓ガラスを多くとることによって、廊下部分や階段部分は非常に明るくなると思います。</p> <p>要は家庭科室、音楽室は間仕切りがありますから、間仕切ったところの壁を中庭の光が教室まで入るかという問題ありますが、十分上が開いているということは、この周りからずっと明かりは入っていくと思っています。</p>
学校整備課長	<p>このような形を造ってみますと、中庭と吹き抜けは中にあるスペースで、日差しは上からは入ってくるので、この空間というのは非常に明るいんですね。ですから部長が申し上げたように、その光を両側にある部屋にどのようにとり込むか。しつらえをどうするかということです。せっかく入ってきた明かりをどう有効活用するか。言い方はおかしいですが、それを殺さないようにしていくことも考えないといけないのかなという感じはします。</p>
座長	<p>実施設計が進んでいく段階で、実際にどんなふうにということは、学校側に問い合わせるといことになりますか。</p>
学校整備担当部長	<p>間仕切りをどうするか、特別教室をどう仕切るかなどの細かいところは、学校と役所と設計事務所の3者で打ち合わせをしていきます。今、具体的には言えないのですが、北側は特別教室がメインになりますので、それについては考え方がまだ整理できていないと思っています。</p>
座長	<p>何らかの形で進捗状況などについては明らかにされていく、ということで理解してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>今の採光の問題について、荻窪小学校の懇談会に私はずっと行っていたのですが、そのときにはきちんと設計が変わるたびに模型を作っていたのですが、「こういう形でこういうふうには日影になります」、「こういう光が入ります」といった説明がありました。それをぜひやっていただきたいかったです。</p> <p>今回、全く形で見えないから、皆さんわからないうちに「こうなります」、「ああなります」だけで「ああ、いいですね」ということで決まってしまったわけです。ですから、その点をきちんとしていただきたいかったです。</p> <p>もっと真剣に考えていただきたいです。皆さんがわかるようにしていただかないと、今になって「どうなのですか」、「こうなのですか」ということになってしまうわけですね。</p>
学校整備担当部長	<p>模型がなくて、少しわかりづらいというご意見だと思います。模型をご提示できなかった件については、大変申し訳ないと思います。</p>
委員	<p>あんなのは発泡スチロールをカットして作れば、簡単にできるのですよ。</p>
学校整備担当部長	<p>おっしゃるとおり、発泡スチロールで模型を作るのは大きな手間ではございませんので、なるべく早いうちに作製して、お示しする機会があったら見ていただきたいと思っています。実施設計の中ではきちんと模型は作製しますので、学校に模</p>

	型を展示して見ていただく場を設けてもいいと思いますので、もう少しお時間いただきたいと思います。
座長	他にありますか。
委員	<p>これだけ震災が騒がれて心配されるときに、この計画が持ち上がったというのは、非常に絶妙なタイミングで私は結構だと思います。</p> <p>ただ学校そのものは、近隣の方々も利用することもあると思いますから、工事期間中も完成後も、近隣の人々とうまく調和をしながら、大きな塀で隠すだけでなく、一体感があるようにしたほうが安心、安全ではないかと思います。これからもそういうところに気を付けながら進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>感想なのですが、子どもにとって何が一番幸せかという目線でいろいろなことを決めていく、ということが一番大事なことです。大人のさまざまな思惑やいろいろなことを考えて「こうしたほうがいい」、「ああしたほうがいい」というのは、本当に子どもにとって一番幸せか、大人は子どものことを本当に考えているか改めて私たちも考えたいと思いました。</p> <p>この辺は遊び場がないので、ぜひ少しでも使えるところは緑化にして、子どもたちがのびのびと遊べるような環境を作ってあげられることが、大事なことだと思います。</p> <p>子ども目線で物事を考えて、「子どもは何を望んでいるのかな」というのは、なかなか自分たちは大人になってしまったので、忘れてしまっていることも多いと思いますが、これからの社会を担っていく子どもたちに、ぜひ良い学校を作っていただけたらと思っております。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>せっかくですので、何かございますか。</p>
委員	<p>細かい間取りについては、私たちは何も申し上げることはございません。今までD案で進めて、いまだに不安が拭い切れておりませんが、委員がおっしゃっていたように、子どもの目線で進めて欲しいということです。これは私たちも本当に切実に感じているところです。</p> <p>もしこれで失敗すると、杉並区の事業として「失敗だった」とならないように、一生懸命に子どものため、また地域のために、100%はないと思いますが、97~8%まで納得できるような計画であって欲しいと思っています。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いします。</p>
委員	<p>今委員からお話がありましたように、今後50年60年という長い年月で子どもたちがここで育っていく、それを考えていただいて、ぜひ良い学校を造っていただきたいと思います。</p> <p>それにつきまして、私たち南荻窪会と五丁目町会さんは、この校舎改築に関して、七町会の要望書の中から取り消しをさせていただきました。</p>

	<p>それは、もともと「あんさんぶる荻窪」に発した問題から取り消しということになったのですが、それと切り離して桃井第二小学校を建て替える場合は立派な良い学校を造っていただきたいということで、いろいろ意見も出したり聞いていただくようお願いしました。</p> <p>あんさんぶる荻窪を残していただきたいということで、私たちは頑張ってお願ひしております。それをぜひ考えていただいて、学校は学校で良いものを造っていただきたいと思います。1つよろしくお願ひします。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かございますか。</p>
委員	<p>改築の3つの基本方針、これが大事かと思っています。質の高い学習環境、安全・安心な生活空間、そして何よりも荻窪の地域というこのランドマークとしての伝統ある桃井第二小学校にふさわしい校舎を、ぜひこれから建てていただきたいと思っています。</p> <p>特にこれからの3年、4年というのは時代が大きく変わります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックであったり、学習指導要領がこれから変わっていきます。そして、「チーム学校構想」というふうにも言われており、より地域と学校が力を合わせて子どもたちを育てていかなければいけない時代になります。その中で、校舎の存在は大きいと思います。子どもたちの新たな学びにふさわしい校舎であったり学校のあるべき姿を、これから私たちも一緒に考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>先ほどから出ている、全ては子どもたちのためにということでこれまで議論をしていただきました。今後は、この基本設計にあるような多目的室を、どう使っていくたら子どもたちのためにいいのか。校庭については、いろいろ議論していただきましたが、メンテナンスであったり運動の確保をいかに高めていくかということだったり、これから工事期間中の子どもたちの学習環境についても、もっともって考えていかなければいけないのが学校の責任でもあります。皆さんの議論を受けて、今ちょうど来年の教育課程を作っているところなのですが、より良いものを一緒に考えていければと思っています。どうもありがとうございました。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何かございますか。</p>
委員	<p>本当に長期にわたりまして、懇談会をありがとうございました。</p> <p>今、このような時期にちょうど終わりの会ということなのですが、雪など降りますと、校庭のことなどはすごく心配だと思っているところです。それについても改善の余地があるということで、それを信じてこのような案の形にしています。先週、他校も見てきましたが、このように雪がどっと降ったりすると、校庭で遊べない状況はどこも同じで、そういうところだけを見てもいけないなということで、先の見通しを持った段階で良いものができればと思っています。</p> <p>ただそうはいっても、そのいいものができる間の丸3年ぐらい、仮設校舎が建</p>

	<p>ったら、子どもたちの日当たりのこと、健康・安全のことなどの新たな課題が生まれるということもありますので、教職員にも周知しながら、また学校のもいろいろ頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。 では、副座長からお願いします。</p>
副座長	<p>今回、報告書のたたき台のような形になっていますが、いろいろな方からD案になった経緯がわかりにくいという話が出ました。今回の報告書案も、各懇談会の資料がそのままファイリングしてあり、「問題なので変更してください」と言ったところが、基本的に修正されていません。従って、どのような経緯で現在の形になったかということがわかりにくく、皆さんがこれを使って説明しにくいのですね。例えば、私はD案になる前にB案について、環八の影響という話をして「評価表を書き替えてください」と申し上げたのですが、書き替えられていない資料が出ているのです。だから、環八の影響について評価欄がないままなのです。そうすると、皆さんがこの評価表を使って、D案に決まった経緯を説明するのはとても難しいのです。</p> <p>それからD案の、校庭に落とす午後の日影について「もう少し校庭に日を入れたい」と考えると、31 ページを見ていただくとわかるのですが、当初北側にも4階がありました。北側の棟の4階部分が影に影響しているので、「この部分を外してください」と申し上げ計画が修正されました。以前はプールが南側の棟の屋上にのせられておりました。高さを押さえて、校庭の午後の日照を確保することも申し上げて今の案になったのです。その経緯がどこにも書いていないので、原案の日影図を使うと説明しにくいのです。PTAの方などはお母さん同士で話し合うときに説明が大変だと思うのです。</p> <p>どういう経過でこのような案になったかという流れが明確にされていないのと、先程も出たように模型もなく説明がしにくいので、当初の何ページの図がこのように改良されたかと、「何ページ参照」程度書いてあって、それがこのようになりましたというように、全体にD案に流れていったことをきちんと説明するようなページがあるべきです。その後で現在の平面計画というのが載っているほうが、私はこの報告書としてはいいのではないかと思うのです。また、課題として残っていること、実施設計で検討しますと言ったことは、このような理由で残っていますということも最後に書いておいて、「これは今後の検討事項なのだ」というのをわかるようにしておけば、非常に理解がしやすくなると思います。</p> <p>建築の設計というのは、全部にとって完璧な案はないのです。より良くしていく中で考えるところなのです。私がもう1つ申し上げた校庭のことで、北側の通路が凍りやすいこと。雨がかからないように歩道に屋根を付け、その上をテラスに使うことにしたら、一番凍るところを、そういう通路にして凍らないようにしてくださいとお願いし、採用されました。そういったこともわかるようにしてください。結果、D案になったと。今後の課題についても書いておいたほうが、こういう問題点がまだ残っているのだということもわかって欲しいと思います。</p>

	<p>そういうことで、何回も水の問題が出てくるのは、どうしてこうなったか、こういうことにしますということが、平面図しかないから最終的にわかりにくいですよ。懇談会の議事録を読めば書いてあるけれど、議事録はやってもらえるかどうかはわからない。ただ発言して終わったのかもしれないので、今後対応していくものと、これは我慢してくださいという意見なのか、今後の検討事項もはっきり書き、議論の流れもわかるようにしておくということで、それぞれの資料の不備な部分をどう直すかということ。この懇談会の資料のままでいくのか、議論が出て直した話を盛り込むのかということが重要だと思います。</p> <p>日影の図面が、一番当初の悪い状況のD案の日影図しかないのですよ。これを見てD案の日影だと思う人はたくさんいます。そうすると、改善されたD案の日影というのはどこにもないので、すごく説明が難しいです。</p> <p>この懇談会で皆さんの議論の着目点も、最初は学校に焦点が合っていなかった経緯もあります。先程、荻窪小学校で模型があったとおっしゃったのですが、模型を作って欲しいというのは委員の皆さんから「模型がないとわかりませんよ」と意見が出ました。この会で意見が出なかったということも事実なのです。</p>
委員	もっと早く言えばよかったね。
副座長	<p>そうなのです。私はいろいろな会に出させていただいているのでわかるのですが、「模型がないとわからないね」とおっしゃれば事務局は作るのですよ。そういうところを中心に議論が展開しなかったということも、皆さん少し反省していただいて、最後にそれをカバーする意味で、この報告書をもう少しわかりやすくしないとイケません。各回の懇談会資料をそのままファイリングするということだけで終わらせないで欲しいですね。</p>
委員	荻窪小学校のときは要望しなかったのですが、作ってくれたのですよ。
副座長	<p>いやいや、要望はしていますよ。</p> <p>そういうことでお願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。時間も大分過ぎましたが、本日も委員の皆様からさまざまな視点、さまざまな角度からご意見、ご要望いただきました。今、副座長からもお話がありました。それらを活かしてこれから進めていくということで、このまとめにつきましても、これから本日いただいたご意見、ご要望活かして整理していくということでした。そして改めて明らかにしていくということで、この後事務局、あるいは座長、副座長、学校も含めていろいろ詰めて最終的に出していくということでしょうか。</p> <p>ということで、最後のまとめの会になりますが、私も1年2カ月にわたりまして座長を務めてまいりました。いろいろ力及ばず申しわけない部分はあったかと思いますが、これまで委員の皆様からいろいろなご意見、ご要望等もいただきながら、本日のまとめの会を迎えることができまして、本当にありがとうございました。</p>

	<p>私も実は高井戸小学校の改築を実際に経験しまして、旧校舎5年間、新校舎4年間過ごしました。ちょうどその中間、今から数えると8年前に新校舎ができ上がったときのことを今でもはっきりと思い出します。4月から子どもたちの登校が早まりました。平均15分ぐらいみんな早くなっていましたね。もう以前ならば8時半駆け込み、あるいは遅刻等もあったのですが、一切なくなりました。</p> <p>やはり子どもが行きたくなる学校、子どもが大好きな学校を作っていくというのはとても大事なことで、本日も何度も出ていきましたが、子どもたちを中心に進めて新しい学校を作っていくことはもとより、地域、学校、保護者の皆様の手に支えられてできるのだということを身をもって体験いたしました。ぜひこれからも家庭、地域の皆様の力をいただきながら、より良いすばらしい桃井第二小学校を作っていただけたらと思っております。本当にどうもありがとうございました。</p> <p>本日の会次第はここで、議論のほうは閉じたいと思うのですが、事務局から何かご説明ございますか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>では連絡事項としまして、第9回、今回のまとめというのもあります。また本日もいろいろな意味でご指摘やご要望、ご意見もいただいたところもありますので、その修正につきましてはまた作成をいたしまして、皆様にお届けしたいと思います。</p> <p>本当に1年以上にわたりまして、どうもありがとうございました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後に部長からお願いします。</p>
学校整備担当部長	<p>第1回目、26年の12月だったと思いますがお集まりいただき、延べ9回にわたりましてご議論をいただきましてありがとうございます。私も昨年度の4月に着任いたしまして、皆様と貴重な議論できたと思っております。</p> <p>学校関係者や学校協議員の皆さん、PTA、先生方、町会の皆さんもいろいろなお立場でこの会合に出席していただいたと思います。様々な考えやお立場、意見あったと思います。</p> <p>本日、一応このプランと配置計画を決めて、副座長のご指摘をもう1回大幅に役所と座長で修正して、ご提示させていただきます。皆さんで桃井第二小学校の改築に向けて合意形成がある程度できたと思しまして、そのことについては非常にうれしく思っております。</p> <p>今後とも子どもたちの環境を第一に、実施設計に進めていきたいと思し、ご近所の皆様、学校の先生方もきちんと説明責任を果たしていきたいと思しますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
座長	<p>お疲れさまでした。</p>